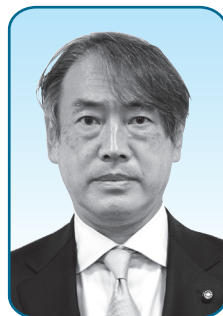


一般質問

Q&A



おがさわら ひろし
小笠原 浩 議員

無所属



質問の様子は
こちら！

市内小中学生の 文章作成能力の向上を

Q 市内小中学生の文章作成能力を高めるための取組を伺う。また、新たな作文コンクール実施の可能性について伺う。

A 各学校においては、日記や様々な活動後の感想文など、日常的に書く活動を推進しています。中でも、川津小学校の3年生以上の児童全員が取り組んだ日本新聞協会主催のコンクールでは新聞記事から論理的文章を作成し、優秀学校賞を受賞するだけでなく、個人部門でも優秀賞が3名、奨励賞が1名と、特筆すべき成果を挙げました。作文コンクールについては、すでに様々なテーマで開催され、児童生徒が積極的に取り組んでいます。今後は体験活動の充実を第一と考え、豊かな体験と発達段階に応じた国語力・言葉の学習を系統的に行います。

(教育長)

水素等利活用の今後の展望は

Q 番の州地区への「液化水素受入基地」の誘致をはじめ、今後の展望を伺う。

A 番の州地区の水素等の調達・利活用環境を整えていくことは、地域産業の競争力強化や次世代エネルギー関連産業の創出にもつながり、ひいては地域経済の発展に結びつきます。現在は、香川県とも歩調を合わせて番の州地区の今後について考える機会がありますし、先般、経済産業省へ行き、要望も行いました。引き続き、県とも密接に連携を取りながら次世代エネルギー関連産業の誘致なども視野に入れた協議を進めていきます。

(市長)

質問の主な項目

・JR坂出駅の利活用について



さながら よしえ
寒川 佳枝 議員

公明党議員会



質問の様子は
こちら！

市民に鑑賞の機会を

Q 愛媛県新居浜市出身の自閉症の作家、石村嘉成氏を本市に招いての講演及び市民美術館で個展を開催し、市民に鑑賞の機会を作ってはどうか。

A 市民美術館では香川県内の障がいのあるアーティストの発表の場として「ふしぎなたね」展を毎年開催しており、県内の障がい福祉に関わる多くの関係者の積極的な協力により、13年続く企画展として市民の障がい者への理解促進に寄与しています。

石村嘉成氏の展覧会は、各地で好評を得られており、市民美術館としても大変興味深く感じていることから、情報収集していきます。

(教育部長)

質問の主な項目

・駅前拠点施設について
・健康を守る取組について など

保育所・こども園で 紙おむつ等のサブスクリプションの採用を

Q 保護者や先生の負担軽減のため、紙おむつやおしりふき等のサブスクリプションを採用してはどうか。

A 紙おむつ等のサブスクリプションの採用については検討を重ねているところであり、昨年11月には公立施設を利用して3歳未満児の保護者を対象にアンケートを実施しました。その結果、利用したいという意見がある一方で、こどもの肌や体形に合ったものを利用したい、自分で準備することに負担を感じないといった意見もありました。

本市としては、保護者の意見や試験運用も含め、サービス内容などを勘案しながら検討します。

(健康福祉部長)

